

令和元年度 公開研究会

学校教育目標

「体も心もたくましく、しかも、しなやかな子供」
を目指して

一本質に迫る授業を通して— (第1年次)



授業紹介

【1日目】 2月7日 (金)

授業Ⅰ 9:00 ~ 9:45

授業Ⅱ 10:00 ~ 10:45

【2日目】 2月8日 (土)

授業Ⅲ 9:00 ~ 9:45

当日の詳細な日程は2次案内にあります。
併せて御覧ください。

授業場所は、当日に配付する要項で御
確認ください。

授業内容に多少の変更が生じる場合が
あります。予め御容赦ください。



宮城教育大学附属小学校

かたちづくり



玉手 英敬

「かたちあそび」の単元で色板を使った学習をします。色板のどこに着目して置いているのか、子供たちの言葉や動きを取り上げながら、図形の構成要素に着目させていきます。

図書かんって
すてき(公共)

一緒に絵本を作ろう(幼小連携)~



柴生 彰

図書館の見学から、本の魅力に気付かせていくことで、附属幼稚園年長児と絵本作りに挑戦しました。完成した絵本の読み聞かせを通して、言葉の育ちについて考えていきます。

1年 算数

2年 生活

CROSS JUMPで跳び箱表現



黒田 栄彦

多くの子供が「〇〇跳びができた」「口段跳べた」など、克服型の運動として捉えている跳び箱を、身体表現を楽しむための跳び箱へとCROSS JUMP BOXという教材で変えていきます。

Yes, We Can学級会
~分散会を開こう~



鹿内 隆世

学級の皆が楽しく過ごしてきた「Yes, We Can学級」。3月に行う分散会に向けて、今まで大切にしてきた合言葉「やればできる」「協力」「乗り越える」にふさわしい企画の内容を話し合います。

2年 体育

3年 特活

大きな絵はがき
(友情・信頼)



牧野 裕可

「友達を大切にすることはどういうことか」をテーマに話し合います。友達を大切に思う気持ちと行動を多面的・多角的に捉えることで自己の友達との関わり方を見つめていきます。

プログラミングで自動運転
~IoT時代を考える~



大久保達郎

プログラミングを行いながら自動運転について考える活動を通して、論理的に考えさせたり、体験的にコンピュータやプログラムのよさについての理解を深めさせていきます。

4年 道徳

5年 CS

行ってみたい
国を紹介しよう
【I want to go to Italy.】



尾形 尚子

旅行代理店の店員になっておすすめの国を紹介します。興味に応じた提案ができるように相手の反応を見たり、聞き出したりしながら相手に配慮した説明を目指します。

ふりこのきまり



吉田 航也

ふりこの一往復する時間を変える条件について、条件を制御しながら実験方法を考えます。実験結果や考察までの見通しをもたせるために、ロジックツリー図を活用します。

※CS: プログラミング的思考を働かせながら、コンピュータ活用への理解や技能を深めるといった、情報活用能力の育成を図る時間

5年 英語

5年 理科

ドローンをもとに音楽をつくろう
(音楽づくり)

将来の夢や
生き方について考えよう
「プロフェッショナルたち」



早坂英里子

音楽全体を支えるドローン(持続低音)にオスティナート伴奏や旋律を組み合わせて音楽づくりを行います。音楽を生み出す過程で、音で遊び、音で対話することを楽しめるような授業を目指します。



村上 和司

3人の事例から見える「プロフェッショナル」とは。対話を通して捉えた「プロフェッショナル」を基に、子供自身が筆者の立場に立ち、文章の結論部分を書き表します。

6年 音楽

6年 国語

こえに出してよもう
「スイミー」



加藤 千佳

小さな魚の兄弟たちを見つけたスイミーは何を考えたのか。スイミーの様子を想像し、音読の仕方を考えます。

1年 国語

はっけん! むかしのくらし



新田 佳忠

地域の方々との関わりを通して、昔の子供の暮らしについて調べます。そして、昔と今の暮らしを比べながら、自分の生活を振り返っていきます。

1年 生活

のってみたいな 夢気球
(立体)



奈須野かなえ

ふうせん学級の子供たちが風船を使った張りに挑戦します。「こんな気球にのってみたいな」という子供たちの夢を乗せた夢気球を色、形、素材にこだわってつくることができる授業を目指します。

2年 図画工作

みんなで音の重なりを
楽しもう



宮澤 莉奈

今年から二部合唱に取り組み、音を重ねて歌うことの楽しさを感じてきた子供たち。本時では、自分たちの思いがより伝わるような、旋律の重ね方について考えていきます。

3年 音楽

音を出して調べよう



渡部 智喜

学習指導要領の改定に伴い、次年度から3年生で始まる新単元です。音とは何か。その性質に迫ります。身近なアレが教材として登場し、子供の「？」を生みだします。

3年 理科

いちにのダーン!
～バレーボール～



本郷 真哉

「NEW RECORD バレー」という、ラリーの回数の記録更新を目指す活動を単元の軸に、自分たちに必要な技術をタスクゲームを通して、楽しみながら身に付けさせていきます。

4年 体育

環境と
関わって生きる
～ミクロの目 マクロの目～



三浦 秋司

営みの中で人々は、様々な環境問題を発生させてきました。発生の原因は誰にあるのか。解決すべきことは何か。ある環境問題を取り上げ、視点を変えながら探っていきます。

5年 社会

比べ方を考えよう



平井 孝

「比べ方を考えよう」の単元でシュートのうまさについて考えます。差と倍、どちらで比較すればよいのか検討することを通して、割合で比べるよさを捉えさせていきます。

5年 算数

ニホンノイフク



高橋 大地

「和服?・・・日本らしいもの!」日本らしさとは何でしょうか。和服が日本の気候に合わせた機能的な衣服であることを、世界的伝統的な衣服との比較を通して捉えさせます。

6年 家庭

からだの学習



今野 ゆき 村石 智美 (養教諭)

からだの学習は、からだを大切にすることが育つという願いから始まりました。本時は「眠る」ということを教材とし、生活リズムを整えることの大切さについて気付かせていきます。

ノーサイド (友情・信頼)



阿部 辰朗

「友達」について自ら問いを立て、対話を通して友達とのよりよい関係の在り方を考えます。教材は「ノーサイド(自作)」。p4cを取り入れた道徳科の授業をします。

1年 特別活動

(保健)

きまりに目をつけて



三井 雅視

子供の問いを大切に、「答えが出てから考える」授業を目指しています。参観していただいた皆様と、これから求められる算数の授業について考えを深めていけたらと思います。

3年 算数

※CS:プログラミング的思考を働かせながら、コンピュータ活用への理解や技能を深めるといった、情報活用能力の育成を図る時間



上杉 泰貴

ちょっといい未来を考えよう
～プログラミングでできること～

「検索」する立場から、「発信」する立場へ。プログラミングを通して、調べたことを伝えるコンテンツを作りながら、「ちょっといい未来」に近づく方法を考えます。

4年 CS

見えないものが
見えてきた!
～食から考える私たちの健康～



佐竹 達郎 齋藤 裕子 (栄養教諭)

食事に関する「見えないもの」。それが見えるようになると、豊かな食生活を自ら築こうとする姿勢が育つはず。願いを入れて、実践したいと思います。

6年 特別活動

(食育)

小学校社会から地理へ



西城 潔 校長

小学校社会科の学習を振り返り、中学校社会科とのつながりを確認します。さらに大学生へのアンケート結果も参考にしつつ、中学以降の地理学習の進め方について考えます。

6年 社会

(小中連携)

うつりかわる仙台市
～観点をもとに探ってみよう～



前田かおり

内容のつながりだけでなく、資質・能力との関連からも教科横断の可能性を探ってきました。移り変わってきた市の様子を調査する中で、他教科と関連した力が生かされるように授業を構成しました。

3年 社会

(教科横断)

2年 道徳

(p4c)

読書会をしよう



小池 美幸

もっと読書の幅を広げてほしい、もっと読むことを楽しんでほしいという願いで単元を構成しました。主体的に読み、感想を交流し合う子供の姿を目指し授業を展開します。

4年 国語

(図書館)

算数の目で見てみよう



手代木吉之 副校長

本提案では、中学校で学習する確率を取り上げ、小学校の算数の目で、問題の解決に迫ります。課題2は長文ですが、丁寧に分析し、解決の糸口を子供とともに見つけます。

6年 算数

憧れの中学校生活
【Junior High School Life】



中元 千春 (HRT) 檜森エリザ (ALT)

本時では、中学生からの手紙を読んだり返事を書いたりするなど、読むこと書くことに慣れ親しむ活動を取り入れています。高学年英語科について一緒に考えていきましょう!

6年 英語